

8 ^{りゅうぐち ししまい} 龍口の獅子舞 [無形民俗文化財]

[所在地] 宇陀市室生龍口

[保持団体] 龍口獅子舞保存会

[概要]

宇陀市室生龍口の白山神社の秋の例祭でおこなわれる。^{よみや ほんみや}宵宮、本宮の日にまず各氏子宅で^{しほう ごさん あくまばら}〈四方〉〈御参〉〈悪魔祓い〉の3曲を、次いで^{ほんとうや あいとうや}本頭屋及び相頭屋宅の頭屋マワシで同3曲及び天狗との掛け合いを演じる〈天狗〉を舞った後、白山神社への渡御に加わる。神社では上記の4曲と〈獅子踊り〉を奉納し、道化役の^{あえくにじんじや}チョケが出てきて観衆の相手をする。

かつては男子によって舞われていたが、子供が減少したため昭和30年代初期に青年会が三重県名張市の矢川や伊賀竜口、安部田地区等から^{あえくにじんじや}敢國神社系統の獅子を習うことで行事が続けられ、平成4年に保存会が結成された。

白山神社の祭礼に付随した、伊賀地域の影響を受けた宇陀地域の代表的な二人立ちの獅子舞として貴重である。

